

帯状疱疹ワクチン接種のご案内

【帯状疱疹とは？】

帯状疱疹は、皮膚に赤い斑点と小さな水ぶくれがまとまって帯状に現れます。発疹は痛みを伴い、発疹が治まった後も神経痛が残ることがあります。

日本人成人の 90%以上は、帯状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜んでいて、50 歳を超えると発症率が高くなり、80 歳までに約 3 人に一人が帯状疱疹になるといわれています。

帯状疱疹は、ワクチンを接種することで予防することができます。

当院では、2 種類のワクチンを接種することができます。（接種対象者、接種費用、回数、効果の持続期間等に違いがあります）

【接種までの流れ】

接種を希望される方は、事前に杉並リハビリテーション病院(03-3396-3181)へ電話の上、接種日の予約をしていただきます。接種当日は、年齢と杉並区民であることを確認しますので、公的な書類（運転免許証、マイナンバーカード、健康保険証等）を必ず受付にご提示をお願い致します。

なお、お電話の際には以下の表にある 2 種類のワクチンの特徴や接種条件、副作用等をよくご参照いただき、接種を希望するワクチン名をお伝えください。

★当院で接種できる帯状疱疹ワクチンについて（接種対象者は、50 歳以上です）

ワクチン名	ビケン （弱毒性水痘ワクチン）	シングリックス （乾燥組換え帯状疱疹ワクチン）
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1 回（皮下注射）	2 回（筋肉注射） （1 回目接種の 2 か月後から 6 か月以内に 2 回目接種）
発症予防効果	50～59 歳で 69.8% 60 歳以上で 51.3%	50 歳以上で 97.2% 70 歳以上で 89.8%
神経痛予防効果	65%程度	90%程度
効果の持続時間	5 年程度	9 年以上
副反応	接種部の紅斑、痛み、かゆみ、 腫れ、発熱、倦怠感 水痘用発疹（1～3%）など	接種部の痛み、腫れ 筋肉痛、疲労、頭痛など

打ってはいけない方	・ 明らかな発熱や急性疾患の方 ・ 水痘ワクチンによる強いアレルギー反応（アナフィラキシーなど）起こしたことがある方 ・ 妊娠している方 ・ 先天性及び後天性免疫抑制状態にある方 ・ 副腎皮質ステロイド剤や免疫抑制剤などの治療を受けており、明らかに免疫抑制状態の方 ・ その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方	・ 明らかな発熱や急性疾患の方 ・ 帯状疱疹ワクチンによる強いアレルギー反応（アナフィラキシーなど）起こしたことがある方 ・ その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方
接種費用	¥8,000 円（税込） ① 公費定期予防接種 区によって自己負担が異なります（杉並区 4,000 円） ② 任意杉並区助成予防接種、 自己負担 ¥4,000 円 ※当院では①と自己負担同額となります	1 回あたり ¥22,000 円 × 2 回 （合計 ¥44,000 円） ① 公費定期予防接種 区によって自己負担が異なります （杉並区 1 回あたり 11,000 円 × 2 回） （合計 22,000 円） ② 任意杉並区助成予防接種 自己負担 1 回あたり ¥11,000 円 × 2 回 （合計 22,000 円） ※当院では①と自己負担同額となります
特徴	・ 免疫が低い方は、接種不可 ・ 1 回接種で済む ・ 費用が安い	・ 免疫が低下している人でも接種可能 ・ 予防効果が高い ・ 効果の持続期間が長い

◆帯状疱疹ワクチンの公費助成制度について

（過去にワクチンを接種されたことがある方は対象外となります）

①【定期予防接種】

対象：東京 23 区に住民登録があり、満 65・70・75・80・85・90・95・100 歳以上の方等

費用：区によって自己負担が異なります

(杉並区生ワクチン (ビゲン) 4000 円 (1 回のみ)

不活化ワクチン (シングリックス) 1 回 11000 円 (2 回まで))

区で発行されます予診票をご提出ください

②【杉並区任意予防接種】

対象：接種日当日杉並区に住民登録があり、50 歳以上の方 (杉並区定期接種対象者を除く)

費用：生ワクチン (ビゲン) 4000 円 (1 回のみ)

不活化ワクチン (シングリックス) 1 回 11000 円 (2 回まで)

杉並区のホームページはこちら

⇒⇒<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/kenko/yobouseshu/1086116.html>